

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東北財務局長
【提出日】	2020年8月14日
【四半期会計期間】	第51期第1四半期（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
【会社名】	株式会社やまや
【英訳名】	YAMAYA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長 山内 英靖
【本店の所在の場所】	宮城県仙台市宮城野区榴岡三丁目4番1号
【電話番号】	022(742)3111(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 田原口 裕基
【最寄りの連絡場所】	宮城県仙台市宮城野区榴岡三丁目4番1号
【電話番号】	022(742)3111(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 田原口 裕基
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第50期 第1四半期連結 累計期間	第51期 第1四半期連結 累計期間	第50期
会計期間	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日	自 2019年4月1日 至 2020年3月31日
売上高 (百万円)	41,733	37,401	168,168
経常利益 (百万円)	1,303	580	4,227
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失() (百万円)	569	107	205
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	700	741	1,059
純資産額 (百万円)	38,762	35,668	36,659
総資産額 (百万円)	73,289	65,256	63,320
1株当たり四半期(当期)純利 益金額又は1株当たり四半期純 損失() (円)	52.52	9.96	18.98
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	44.5	48.5	50.4

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して
おりません。

2. 売上高には、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という。)は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第50期第1四半期連結累計期間及び第50期
連結会計年度は潜在株式が存在しないため、第51期第1四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失であ
り、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容
について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

(事業全般の概況)

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)における当社グループ連結業績は、売上高374億1百万円(前年同期比10.4%減)、営業損失1億71百万円(前年同期は営業利益12億72百万円)、営業外収益に雇用調整助成金が6億87百万円計上されたことにより、経常利益5億80百万円(前年同期比55.4%減)となりました。

特別損失に新型コロナウイルス対応による損失が12億1百万円計上されたこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損失1億7百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益5億69百万円)となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が拡大し、政府の自粛要請や4月7日の緊急事態宣言の発令により、経済活動が制限されました。今秋には酒税法の改正により、ビール類新ジャンルの増税が予定されております。このような環境の中、当社グループは、地域密着を図り、地産地消・地産全消に取り組み、酒販事業と外食事業の協働体制を推進いたしております。

当第1四半期連結会計期間末において、酒販事業335店(前年同期比4店増)、外食事業904店(同87店減)、グループ合計店舗数1,239店(同83店減)を運営しています。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(酒販事業)

酒販事業における売上高は348億62百万円(前年同期比18.3%増)、営業利益は20億94百万円(同141.6%増)となりました。

新型コロナウイルス感染拡大抑止のため、4月7日に7都府県に対する緊急事態宣言が発令され、また、4月16日に全国に発令され、外食外飲みから内食家飲みへとシフトしたことにより酒販売売上は増加し、5月の大型連休には、ステイホーム、巣ごもり需要が増大し、ネット飲み会や、家族と一緒に食事をする機会の増加により、こだわり商品、機能性飲料などの需要が増加し、お客様の志向性は多様さを増しました。外出自粛や在宅勤務の影響が顕著に見られる結果となりました。

「ウィズコロナ」の対応といたしましては、ドライブスルーの試みである「やまやドライブ」を導入しました。

新規出店として、古河店(茨城県)、三田対中店(兵庫県)の2店を開店しました。これにより、2020年6月末における酒販事業の総店舗数は335店(前年同期比4店増)となりました。

(外食事業)

外食事業における売上高は26億45百万円(前年同期比79.1%減)、営業損失は22億69百万円(前年同期は営業利益4億2百万円)となりました。

外食事業では新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月8日から直営店約280店舗を、4月21日からは約300店舗を、5月6日まで臨時休業としました。5月7日以降も250店舗の臨時休業を続け、緊急事態宣言が全面解除された5月26日より順次営業を再開することとしました。

これらにより、当四半期は減収減益となりました。

営業再開にあたって、お客様の行動パターンの変化への対応として、従来の居酒屋スタイルから食事を中心とした業態の開発を進めております。「ウィズコロナ」のフォーマットとして「焼肉 牛星」、「大衆食堂 安べ系」、「和食旬菜 海鮮料理 はなの屋」といった業態を展開することで、業績の回復を図ってまいります。

2020年6月末の飲食直営店は、491店(前年同期比30店減)、飲食F C店は、413店(同57店減)となり、飲食店の総店舗数は、904店(同87店減)となりました。

(2) 財政状態

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べて19億36百万円(3.1%)増加し、652億56百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が10億92百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて15億83百万円(5.5%)増加し、304億71百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて3億52百万円(1.0%)増加し、347億84百万円となりました。

(負債)

総負債は、前連結会計年度末と比べて29億27百万円(11.0%)増加し、295億88百万円となりました。

流動負債は、買掛金で18億99百万円増加、短期借入金(1年以内返済予定の長期借入金を含む)で6億85百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて31億17百万円(14.2%)増加し、250億68百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて1億89百万円(4.0%)減少し、45億20百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べて9億91百万円(2.7%)減少し、356億68百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の50.4%から48.5%となりました。

(3) 事業及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	35,000,000
計	35,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,847,870	10,847,870	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	10,847,870	10,847,870	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日	-	10,847,870	-	3,247	-	6,137

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年6月15日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 5,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,819,400	108,194	-
単元未満株式	普通株式 22,570	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	10,847,870	-	-
総株主の議決権	-	108,194	-

- (注) 1. 2020年5月29日付公告の通り、2020年6月15日を第50回定時株主総会の議決権の基準日と定めたため、2020年6月15日現在の情報を記載しております。
2. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が600株(議決権の数6個)含まれております。
3. 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式が24株含まれております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社やまや	宮城県仙台市宮城野区 榴岡三丁目4番1号	5,900	-	5,900	0.05
計	-	5,900	-	5,900	0.05

- (注) 1. 2020年5月29日付公告の通り、2020年6月15日を第50回定時株主総会の議決権の基準日と定めたため、2020年6月15日現在の情報を記載しております。
2. 当第1四半期会計期間末現在の自己株式数は5,924株となっております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,729	6,821
売掛金	4,814	5,250
商品及び製品	15,275	15,011
仕掛品	89	98
原材料及び貯蔵品	52	48
前払費用	1,032	957
その他	2,178	2,598
貸倒引当金	283	314
流動資産合計	28,888	30,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,438	33,487
減価償却累計額	27,086	27,172
建物及び構築物(純額)	6,351	6,314
機械装置及び運搬具	1,930	1,938
減価償却累計額	1,796	1,806
機械装置及び運搬具(純額)	134	132
工具、器具及び備品	9,366	9,367
減価償却累計額	8,655	8,669
工具、器具及び備品(純額)	711	698
リース資産	2,156	2,176
減価償却累計額	1,831	1,845
リース資産(純額)	325	330
土地	4,726	4,726
建設仮勘定	14	6
有形固定資産合計	12,263	12,208
無形固定資産		
ソフトウェア	94	99
のれん	9,296	9,127
その他	28	28
無形固定資産合計	9,420	9,255
投資その他の資産		
投資有価証券	912	1,017
関係会社株式	757	774
破産更生債権等	109	130
長期前払費用	103	103
退職給付に係る資産	25	23
差入保証金	9,249	9,174
繰延税金資産	1,576	2,029
その他	103	177
貸倒引当金	90	111
投資その他の資産合計	12,748	13,320
固定資産合計	34,432	34,784
資産合計	63,320	65,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,853	10,753
短期借入金	6,000	6,800
1年内返済予定の長期借入金	312	197
リース債務	152	147
未払金	1,861	1,622
未払費用	996	1,029
未払法人税等	835	993
未払消費税等	858	741
預り金	496	532
賞与引当金	512	373
前受収益	64	812
その他	1,008	1,062
流動負債合計	21,951	25,068
固定負債		
長期借入金	49	144
退職給付に係る負債	315	320
リース債務	339	329
役員退職慰労引当金	562	566
資産除去債務	1,519	1,524
その他	1,924	1,634
固定負債合計	4,710	4,520
負債合計	26,661	29,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	5,799	5,799
利益剰余金	22,832	22,474
自己株式	8	8
株主資本合計	31,871	31,513
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62	118
退職給付に係る調整累計額	9	6
その他の包括利益累計額合計	53	111
非支配株主持分	4,734	4,042
純資産合計	36,659	35,668
負債純資産合計	63,320	65,256

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	41,733	37,401
売上原価	27,258	28,179
売上総利益	14,475	9,221
販売費及び一般管理費	13,202	9,393
営業利益又は営業損失()	1,272	171
営業外収益		
受取利息	2	2
受取手数料	20	5
受取配当金	12	7
持分法による投資利益	5	4
雇用調整助成金	-	687
その他	29	62
営業外収益合計	70	768
営業外費用		
支払利息	1	3
店舗改装費用	6	2
店舗閉鎖損失	7	2
災害による損失	13	-
その他	10	7
営業外費用合計	39	16
経常利益	1,303	580
特別利益		
固定資産売却益	0	-
受取補償金	-	30
特別利益合計	0	30
特別損失		
固定資産除却損	-	0
減損損失	29	27
割増退職金	-	282
新型コロナウイルス対応による損失	-	1,201
その他	0	1
特別損失合計	29	1,313
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	1,273	702
法人税、住民税及び事業税	558	620
法人税等調整額	32	495
法人税等合計	525	125
四半期純利益又は四半期純損失()	747	828
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失()	178	720
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()	569	107

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	747	828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	82
退職給付に係る調整額	0	4
その他の包括利益合計	47	86
四半期包括利益	700	741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	522	49
非支配株主に係る四半期包括利益	178	692

【注記事項】

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において「流動負債」の「その他」に含めていた「前受収益」は、金額的重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より区分掲記することといたしました。

この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結貸借対照表の組替を行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動負債」に表示していた「その他」10億72百万円は「前受収益」64百万円、「その他」10億8百万円として組替しております。

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積もりについて)

当社グループの外食事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止への社会的な要請を踏まえ、直営店及びフランチャイズ店において、臨時休業や営業時間の短縮等を実施してまいりました。緊急事態宣言の全面解除と各自治体による営業自粛の緩和後は、順次、店舗の営業を再開し、お客様や従業員の安全を第一として、衛生管理や感染拡大防止に取り組みながら、営業を続けております。

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、2021年3月期第1四半期において、売上高は前年同月比20.9%となりました。これらの状況を踏まえ、現段階においては、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症による影響が1年程度続くとする過程の変更を要する状況にはないものと判断し、固定資産の減損損失の認識や繰延税金資産の回収可能性の判断を行っております。

(四半期連結損益計算書関係)

1(新型感染症対応による損失)

新型感染症の拡大防止の取り組みとして、政府および各自治体からの営業自粛要請や緊急事態宣言を受け、これらの対応に伴った感染防止対策等を実施しました。これにより発生した損失額を、新型感染症対応による損失として特別損失に計上しており、その主な内訳は次のとおりであります。

休業期間中の従業員給与及び手当	650百万円
休業期間中の店舗等施設に係る固定費	487
感染防止対策費用等	63
計	1,201

2(割増退職金)

当社の子会社である(株)つば八及び、つば八酒類販売(株)における希望退職者の募集による退職者への割増退職金であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
減価償却費	477百万円	330百万円
のれんの償却額	174	169

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月10日 取締役会	普通株式	238	22	2019年 3月31日	2019年 6月5日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月21日 取締役会	普通株式	249	23	2020年 3月31日	2020年 6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,084	12,649	41,733	-	41,733
セグメント間の内部 売上高又は振替高	380	0	380	380	-
計	29,464	12,649	42,114	380	41,733
セグメント利益	866	402	1,269	3	1,272

(注)1. 調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「外食事業」において29百万円であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,757	2,644	37,401	-	37,401
セグメント間の内部 売上高又は振替高	105	1	106	106	-
計	34,862	2,645	37,507	106	37,401
セグメント利益又は 損失()	2,094	2,269	175	3	171

(注)1. 調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「外食事業」において27百万円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()	52円52銭	9円96銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は 親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(百万円)	569	107
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は 親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(百万円)	569	107
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,842	10,841

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第1四半期連結累計期間は潜在株式が存在しないため、当第1四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社の子会社であるチムニー株式会社は、2020年8月13日開催の取締役会において、以下のとおり希望退職者の募集を行うことを決議いたしました。

希望退職者の募集を行う理由

当社の子会社であるチムニー株式会社は、2020年3月期連結決算において発表したとおり、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、72店舗の閉店の意思決定を行っております。同社の大きな変革期において、今後の収益力、キャッシュ・フロー創出力の強化と、食事需要に対応した新業態への転換を加速していくことを重点施策として取り組んでいるなか、企業体質の強化と事業規模(店舗数)に見合った人員体制の適正化を図る必要があると判断し、希望退職者の募集を行うことを決議いたしました。

希望退職者募集の概要

- 募集対象者 在籍する正社員(コントラクト事業の社員を除く)
(2020年7月31日現在の正社員数 971名)
- 募集人数 100名程度
- 募集期間 2020年8月13日から2020年8月26日
- 退職日 2020年9月30日
- 優遇措置 特別退職加算金を支給する。また、希望者への再就職支援を行う。

希望退職による損失の見込額

希望退職者募集に伴い発生する特別退職加算金等は、第2四半期連結会計期間において特別損失として計上する予定です。なお、現時点では応募者数等が未定であるため、業績に与える影響額は未定です。

2【その他】

2020年5月21日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

(イ) 配当金の総額 249百万円

(ロ) 1株当たりの金額 23円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 2020年6月29日

(注) 2020年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月14日

株式会社やまや
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ
仙台事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 菅 博雄 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 澤田 修一 印

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社やまやの2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社やまや及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業的前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業的前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。